

UNIVERSITY CONSORTIUM TOCHIGI NEWS LETTER



大学コンソーシアムとちぎ
発行 大学コンソーシアムとちぎ事務局

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 (宇都宮大学内)
TEL.028-649-5016 FAX.028-649-5079
URL: <http://www.consortium-tochigi.jp/>

2007.5.25
Vol.1



コンソーシアムという試み

足利工業大学 学長 吉田 忠雄

大学コンソーシアムとちぎが発足して3年目を迎えた。大学コンソーシアムとちぎは、栃木県内の大学、短期大学および高等専門学校からなる高等教育機関が協力して、各機関の教育の発展、栃木県の発展、産学公の連携等に貢献をするための組織であると、私は理解している。栃木県内には幅広い専門の高等教育機関が存在している。これらの教育機関が情報交換を行い、個々の機関では持ち得ない情報を共有して、それぞれの機関の活性化に役立てることができれば、これに越したことはない。

大学コンソーシアムとちぎはすでにいくつかの事業を立ち上げてきた。具体的には以下の専門委員会を設立した。大学間連携事業委員会、産学公連携事業委員会および広報事業委員会がそれである。例えば、大学間連携事業委員会では①とちぎバーチャルユニバシティ事業、②市民カレッジ、③高大連携事業、④国際交流推進事業などが計画されている。そして一部はすでに実施されている。

市民カレッジ事業では、社会人を対象に大学院卒業程度の講義を行うリカレント講座および一般市民向けの生涯学習講座の事業企画が作られ一部実施されている。また、高大連携事業では、県教育委員会との連携の下、高校生向け講座、教育研修等の企業計画が進められているが、大学コンソーシアムとちぎと県内高校の校長会との懇談も行われている。

現在のところ大学コンソーシアムとちぎは高等教育機関を中心に運営されている。すでに産業界の代表も参加し、近い将来県の関係者も参加する予定である。産学公の実質的な協力体制が確立され、本コンソーシアムが実質的な成果を挙げ、所期の目的を達することを願っている。

特集

大学コンソーシアムとちぎ連携講座 START。

2006年開講科目：とちぎ観光学 石膏デッサン 知的財産権判例研究 科学的な見方考え方 宇宙の探究

2006年、大学コンソーシアムとちぎ連携講座がスタートし6つのオリジナル授業科目が大学生、高校生及び社会人にも開設されました。

今回は「とちぎ観光学」をクローズアップし、ご担当された黒田先生、社会人として受講されたお二人に感想を聞いてみました。

クローズアップ

とちぎ観光学

とちぎ観光学をご担当された
黒田英一先生より授業の感想
をいただきました。

オリジナル授業科目「とちぎ観光学」を9月末から2月上旬まで15回開講しました。講師陣は、宇都宮大学をはじめ、新作新学院大、文星芸大、宇都宮共和大、白鷗大、足利工大など各大学から計15人の先生方です。社会人の方にも受講可能なように夕方6時からとし、場所も宇都宮中心部の宇都宮共和大のキャンパスにしました。最初どれだけ受講していただけか心配でしたが、社会人の方4人、学生11人の方に受講していただきました。

見方もあるのか」「へえ、この地域はこうなんだ」と、知的な発見があったと思います。次に、社会人の方にとっては、いろいろな先生方と交流でき、人脈が広がったことも思わぬ副産物でした。観光や地域に関する先生方を知る機会には良かったと思います。

そして最後に残念だったことを。社会人の方と学生との議論があまりできなかったことでした。社会人の方の知恵や知識を学生の方の学ぶには最適な場所と生諸君は、レポートはきちんと書くのですが、いざ面と向かって議論となるとおとなしくなるようです。ほんと残念です。

いずれにしても最初の試みですが、まあいい成果が得られたのではないのでしょうか。

うつのみやシティガイド協会 事務局
坂本 明さん

私は「うつのみやシティガイド協会」で観光案内ボランティアをやっておりますので、観光についてより深く理解するため、また、案内活動に活かせたらと考え講座を受講しました。受講にあたり、最初は先生方がどのような内容で栃木県の観光実情を語るのか興味がありましたが、講座が進むにつれ先生方の専門分野から見た観光について、言い換えれば専門知識でもってどう観光を捕らえ料理して目の前に出してくれるのか、どんな切り口を見せてくれるのか、毎週が楽しみでした。

特に関東職業能力開発大学校建築科、西澤邦夫先生の『都市集積による観光地づくり』と宇都宮大学工学部、永井譲先生の『観光地まちづくりと政策評価』が印象に残りました。

ご感想いただきありがとうございました。

宇都宮市 総合政策部 政策審議室 市政研究センター
研究員 羽石 学さん

私が「とちぎ観光学」を受講して得たことは次の3つです。1つ目に、私は今、自治体内に設置されたシンクタンクで都市（あるいは地域）イメージの向上に必要な仕掛けを研究していますが、そのヒントに、観光的手法（オンリーワン、高級感等）が有効であることを学びました。2つ目に、栃木県内18の高等教育機関の学識者等との人的ネットワークをつくることができました。このような交流機会を得られる講義を開催できるのは、「大学コンソーシアムとちぎ」の取組ならではの特徴だと思います。3つ目に、あらためて栃木県の観光資源の多さに驚かされました。イメージが弱い・PR下手と言われがちな本県ですが、本県の魅力をPRするためにも、まずは自分が住むまちや地域の魅力を、私達がもっともっと知っていかなければならないとの思いを強くしました。

主催・共催事業

- (社) 栃木県経済同友会産業政策委員会講演会 (2006.5.12開催)
「産学公連携の現状と展望」～栃木県における新たな産学公連携～
- (社) 栃木県経済同友会産業政策委員会視察 (2006.9.7～8実施)
「岩手県及び岩手大学 (産学公連携施設) への視察」
- 「とちぎ総合文化フェスティバル2006」参加 (2006.9.15～17)
- 栃木県知事との懇談会 (於: ホテルフェアシティ) (2006.10.28開催)
- (社) 栃木県経済同友会産業政策委員会報告会 (2006.11.15開催)
「産学公連携に関わる岩手県視察報告会」
- 平成18年度学生支援事業募集 (2006.11) 2件採択
 - ① 自治医科大学 「特定非営利活動法人とちぎ生涯学習研究会」
 - ② 宇都宮大学「リアライズ」
- 文星芸術大学「デジタルグラフィックス公開講座」 (2006.12.7開催)

平成18年度事業報告

 **大学コンソーシアムとちぎ**



10/28 大学コンソーシアムとちぎ学長懇談会
及び栃木県知事との昼食懇談会開催



9/7～ (社) 栃木県経済同友会産業政策委員会視察
9/8 「岩手県及び岩手大学 (産学公連携施設) への視察」



7/31～ 連携講座オリジナル授業科目
8/7 文星芸術大学「石膏デッサン」



5/12 (社) 栃木県経済同友会産業政策委員会講演会
「産学公連携の現状と展望」
～栃木県における新たな産学公連携～

後援事業



12/2 地球環境・女性連絡会とちぎ (GENKIとちぎ)
実践・研究レポート プレゼンテーション

後援事業



10/6 栃木観光ルネサンスフォーラム実行委員会
日中新世紀会「日中アニメ漫画文化交流大会」

協力事業



7/15 宇都宮大学オープンキャンパス
15構成機関参加

大学間連携 事業委員会

- 連携講座の実施
(連携講座募集ガイド作成, 連携講座シラバス等の作成及び更新他)
- 平成18年度「学生生活支援事業」の実施

産学公連携 事業委員会

- 「産学公連携に関わる岩手県視察 (9月7日～8日) 及び報告会開催」 (11月15日)
- 文星芸術大学「デジタルグラフィックス公開講座」 in TOHOシネマズ宇都宮 (12月7日) 【インターンシップ関連】
- 清原学シンポジウム 未来への提言 (1月15日) 主催【とちぎ学関連】
- 産学振興交流会 in 作新学院大学 (1月26日) 共催【MOT関連講演】

広報 事業委員会

- ホームページ随時更新 (4月～)
- 平成18年度パンフレットの発行と関係機関への発送 (9月中旬)
- 平成18年度ポスターの作成 (9月中旬)
- ㈱栄美通信 合同進学説明会 (於: 宇都宮マロニエプラザ) (6月6日)
- ㈱栄美通信 合同進学説明会 (於: 郡山ビューホテルアネックス) (9月12日)
- 「とちぎ総合文化フェスティバル」2006 (於: 栃木県総合文化センター) (9月15日～17日)

専門委員会の活動

▼チェック！ 大学コンソーシアムとちぎの ホームページが公開されています。



大学コンソーシアムとちぎではホームページを公開しております。大学コンソーシアムについてはもちろん、学生のみならずには連携講座のシラバスが掲載されており、高校生や社会人の方も受講可能なオリジナル授業科目の申込みこちらから出来ます。

また、加盟する各大学の最新情報や、オープンキャンパス情報もチェックできます。

編集後記

大学コンソーシアムとちぎは、平成17年4月28日に産声をあげました。平成元年発足した栃木県高等教育連絡協議会が母体になっております。その間、設立前からご協力いただいた（財）とちぎ総合研究機構（現在解散）担当者の方々及び18構成機関の学長先生を始めとした教職員のご協力でなんとか設立にこぎ着けました。関係者の皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、今後とも当会を温かく見守って頂けるよう宜しくお願い致します。

栃木県の高等教育機関が学生等の若い力で栃木県を元気するという事で、大学間連携事業委員会、産学公連携事業委員会、広報事業委員会が活動しております。

発足2年と1ヶ月ですが、事務局担当として総務的な会議の運営、規則、規程の作成、財務的な簿記会計システムの構築、会計業務、情報発信としてホームページサーバーの作成運営と自分なりに独自にいろいろと勉強し試行錯誤ながら現在に至っております。私自身、行き届かない点、業務として改良しなければならない点があるかと存知ますが、大学の本務を持ち二足のわらじ状態が今後とも続きます、皆様のご協力を賜りたくお願い申し上げます。

事務局担当 飯 島

大学コンソーシアムとちぎ役員（平成19年5月1日現在）

理事長	菅野長右門	宇都宮大学長
副理事長	吉田 忠雄	足利工業大学長
副理事長	谷 修一	国際医療福祉大学長
副理事長	諸富 隆	作新学院大学長・作新学院大学女子短期大学部
理事	市川 秀夫	社団法人栃木県経済同友会代表幹事
理事	上野 憲示	文星芸術大学長
理事	上野 孝子	宇都宮文星短期大学長
理事	太田 周	放送大学栃木学習センター所長
理事	沖永 佳史	帝京大学長
理事	小林 茂雄	栃木県総合政策部長
理事	清水 敦彦	足利短期大学長
理事	須賀 英之	宇都宮共和大学長・宇都宮短期大学長
理事	高久 史麿	自治医科大学長
理事	田原 博人	前宇都宮大学長
理事	寺野 彰	獨協医科大学長
理事	中村 幸弘	國學院大學栃木短期大学長
理事	藤本 光宏	小山工業高等専門学校長
理事	森山 眞弓	白鷗大学長
理事	谷島 一嘉	佐野短期大学長
理事(事務局長)	村松 君雄	宇都宮大学副学長
監事	内野 直忠	前学校法人船田教育会監事
監事	関澤 繁	社団法人栃木県経済同友会専務理事

大学コンソーシアムとちぎ事務局（平成19年5月1日現在）

現在、宇都宮大学産学地域連携課が担当しております。

大学コンソーシアムとちぎ参加校 50音順

足 利 工 業 大 学 足 利 短 期 大 学 宇 都 宮 共 和 大 学 宇 都 宮 短 期 大 学 宇 都 宮 大 学 宇都宮文星短期大学
小 山 工 業 高 等 専 門 学 校 國 學 院 大 學 栃 木 短 期 大 学 國 際 医 療 福 祉 大 学 作 新 学 院 大 学 作 新 学 院 大 学 女 子 短 期 大 学 部 佐 野 短 期 大 学
自 治 医 科 大 学 帝 京 大 学 獨 協 医 科 大 学 白 鷗 大 学 文 星 芸 術 大 学 放 送 大 学 栃 木 学 習 セ ン タ ー